

公益社団法人愛知県医師会 第10回(定例)理事会議事録

開催日時：平成27年6月25日(木) 午後2時30分～午後3時55分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 隆 横井 隆

理事／市川朝洋 吉田 貴 伊藤健一 城 義政 加藤雅通

大輪芳裕 西山 朗 檜尾富二 樋口俊寛 伊藤富士子

瀬瀬雅明 細川秀一 森 孝生 城 卓志

監事／岩瀬敬紀 可世木成明 榊原一基

代議員会副議長／川上雅正 杉田洋一

欠席者

副会長(代表理事)／伊藤 宣 夫

理事／野田正治

代議員会議長／水野和夫

議事録作成者 加藤結花

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者22名(うち理事17名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①中部地区がん医療連携研究会(代表世話人 足立昌由)主催の第3回中部地区がん医療連携学術講演会〔7/25(土)〕の後援について

②名古屋骨を守る会(会長 鈴木敦詞：藤田保健衛生大学内分泌代謝内科教授)主催の第25回名古屋骨を守る会講演会〔8/23(日)〕の後援について

③第12回愛知県精神障害者スポーツ(バレーボール)大会(愛知県ソフトバレーボール連盟会長 遠嶋民樹)〔10/22(木)〕の後援について

④愛知産業保健総合支援センター主催の日医認定産業医研修会の共催について

市川理事より説明され、1-(1)-①～④について一括承認を求め、承認された。

- (2) がん就労を考える会（代表世話人・愛知県がんセンター中央病院副院長 岩田広治）主催の「がん就労を考える会」[10/24(土)]の日医認定産業医研修会の指定申請並びに共催について

市川理事より説明され、承認された。

- (3) 愛知県介護支援専門員支援会議の委員の推薦について

市川理事より説明され、本会の野田理事を推薦することが承認された。

- (4) 平成27年度愛知県教育支援委員会の委員の推薦について

市川理事より説明され、これまで同様に各分科会(小児科、耳鼻咽喉科、眼科)にそれぞれ1名の推薦をお願いすることが承認された。

- (5) 平成27年度愛知県広域災害・救急医療情報システム開発事業業務委託総合評価委員会委員の就任について

市川理事より説明され、本会理事の城(義)理事および愛知県救急医療情報センター顧問の野口宏先生の就任が承認された。

- (6) 愛知県蚊媒介感染症対策会議の構成員の就任について

市川理事より説明され、本会の瀨瀨理事の就任が承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下のNo.1～5の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	7/13(月)	地域医療再生に関する多職種連携協議会	5階医師連盟会議室	樋口理事 野田理事
2	7/30(木)	「現代医学」誌編集(小)委員会	501 会議室	城(卓)理事 大輪理事
3	7/31(金)	在宅医療サポートセンター実務者協議会	802～804 会議室	野田理事 樋口理事
4	8/10(月)	地域医療構想区域の検討に向けた説明会	9階大講堂	伊藤(健)理事 伊藤(富)理事 大輪理事
5	8/19(水)	講演会「マイナンバー制度と医業経営(仮題)」	地下健康教育講堂	市川理事 大輪理事 伊藤(健)理事

3. 公衆衛生関係功労者に対する知事表彰について

市川理事より説明され、勅使河原啓市先生(産婦人科医会)、杉山秀樹先生(津島市医師会)、牧 紀衛先生(愛知県小児科医会)、井上和彦先生(豊川市医師会)を候補者として推薦し、推薦順位は年齢順とすることが承認された。

4. 平成 27 年度救急医療功労者の愛知県知事表彰候補者の推薦について

城(義)理事より説明され、洪 尚樹先生、井戸田 力先生(名古屋市)、青山弘彦先生(瀬戸旭)、中岡義明先生(豊橋市)、津ヶ谷正行先生(豊川市)、加藤龍也先生(豊田加茂)、絹川常郎先生、鈴木孝彦先生(県病院協会)、重富 亮先生、北川喜己先生(県医師会)の10名を個人として、団体としては坂倉医院(名古屋市)、大菅病院(名古屋市)、小嶋病院(東海市)、順和病院(知多郡)、豊田地域医療センター(豊田加茂)の5機関を推薦することが承認された。

5. 救急委員会委員の変更について

城(義)理事より説明され、尾崎行男先生(藤田保健衛生大学病院)から武山直志先生(藤田保健衛生大学医学部 救命救急医学教授・藤田保健衛生大学病院総合救命救急センター長)への変更が承認された。

6. 平成 27 年度認知症サポート医養成研修の受講者推薦について

樋口理事より説明され、受講希望者 66 名の申し込みがあり、各地区でサポート研修を受講した数等を考慮し、6 名を推薦することが承認された。
また、残り 60 名については自己負担での受講となると説明された。

—協議事項—

7. その他

—報告事項—

【本会関係会議について】

1. 調査室委員会〔6/16(火)〕について

(6 階研修室)

大輪理事より、調査室だより原稿について、代議員会協議事項のマイナンバー制度についての解説をし、意見交換を行ったと説明された。また、中長期的視点に立った社会保障政策の展開についても議論をしたと説明された。

柵木会長より、マイナンバー等について意見があったかどうか質問され、大輪理事より、委員間では情報が周知されてない様子であり、建設的な意見はなかったが、いずれ愛知医報に掲載することを検討していると発言された。

2. 地域医療再生に関する多職種連携協議会〔6/22(月)〕について

(6 階研修室)

樋口理事より、正式名ではないが、イエローカード(オヤッ?と Card)のシステム改訂のため、カード本体と手引書の見直しがなされた。また、多職種連携における事例検討のモデルの基本的な考え方などについて意見交換を行ったが、具体的なことについては決まっていないと説明された。また、6月27日(土)に栄養士会主催の研修会が開催されると報告された。

3. 地域医療介護委員会〔6/16(火)〕について

(5 階医師連盟会議室)

樋口理事より、今年度のシンポジウムの開催日程やテーマなどについて検討し、「認知症患者を在宅でどう見ていくか(仮題)」をテーマに、全国在宅療養支援診療所連絡会会長の新田國夫先生に、基調講演の講師を依頼することで了承を得たと報告された。また、愛知県医師会でテレビ会議システムによる地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会を開催する予定であることを説明された。

4. 講演会・研修会等について

柵木会長より、本会主催の講習会・研修会等のNo.1、3については資料により報告とされ、No.2については城(義)理事より、受講者119名の内、消防関係者が61名であったが、反省会で受講態度について問題となったこと、医師・医療従事者の参加を増やすため、消防関係者については参加会費を有料とすることなどが今後の検討課題であると報告された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	6/16(火)	産業医研修会	137名	西山理事 市川理事

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
2	6/21(日)	第6回 災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	119名	城(義)理事 細川理事
3	6/21(日)	平成27年度第1回調査室委員会勉強会	65名	大輪理事 伊藤(健)理事

【行政、その他関係団体等会議について】

5. 学校保健総合支援事業第1回協議会〔6/17(水)〕について

(愛知県主催：愛知県生涯学習推進センター)

吉田理事より、「学校保健課題解決支援事業」から名称変更をした事業であり、本来、内容的にも変更するべきであるが、日程等の事情もあり例年を踏襲している。今年度は新城市教育委員会担当で、生活習慣をテーマに睡眠時間、運動不足について調査、問題点の解決を計画すべく、新城市の協議会で協議しながら進めていくと報告された。

山本副会長より、大府市の例を挙げ、熱中症が問題視されている中、体育の授業中においても水分補給を認めていない現状を説明され、吉田理事より教育委員会に改善していただくよう伝えると発言された。

6. 第11回特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち総会〔6/13(土)〕について

(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：801会議室)

城(義)理事より、平成26年度の事業報告、決算報告、妹尾先生の名誉理事長の承認がなされたと報告された。

特定健診、特定保健指導は257,008件、治験倫理委員会案件審査5件、継続審査1件、インフルエンザワクチン接種補助事業173,826名、新健保組合設立事業では、41医療機関15,000人が申請した。当期正味財産増加24,212,000円、当期正味財産61,660,721円であった。委員の中から、非営利活動法人であるので、手数料の減額等を考えてはいかがかという意見があったが、今後も増加していくかどうか、また、ある程度の余力が必要であり、消費税分の増額はしていないということでした承を得たと説明された。

柵木会長より、保健指導、ワクチン接種についての現況を質問され、城(義)理事より、多少は増加傾向であると発言された。

また、柵木会長より新健保設立支援事業について質問され、城(義)理事より、特定非営利活動法人健康情報処理センターあいちからは、既に手を離れている事業であると説明された。

7. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち第3回運営委員会〔6/10(水)〕について

(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：)

特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち事務所)

城(義)理事より、平成 26 年度の事業報告と決算報告があり、いずれも承認されたと報告された。

また、ストレスチェック実施促進のための助成金の概要について、50 人以下の事業所については、複数の事業所(2~10)が 1 団体として申請をし、ストレスチェックを行った場合には、助成金の補助があることと、届出・申請の期限について説明された。

8. 愛知県健康管理機関協議会総会 [6/16(火)] について

(愛知県健康管理機関協議会主催：日陶連 2 階第 3 会議室)

城(義)理事より、平成 26 年度は 20 検査機関が参加していたが、平成 27 年度より 3 機関が脱退したと説明され、経費削減の為、事務所を日本予防医学協会東海支部に間借りすることとなったと報告された。

また、行政との連携、学会との連携を強めるため、愛知労働局、愛知医科大学柴田栄治教授にアドバイスを頂き運営していくこととすると報告された。

9. 愛知県社会福祉協議会第 1 回運営適正化委員会 [6/15(月)] について

(愛知県社会福祉協議会主催：愛知県社会福祉会館)

樋口理事より、平成 26 年度の運営適正化委員会事業報告の後、平成 27 年度の事業計画について協議したと説明され、運営適正化委員会の終了後、引き続き第 1 回運営監視合議体、第 1 回苦情解決合議体が同時開催されたと報告された。

また、組織機構の説明、委員会開催状況、委員会メンバー等の説明をされた。

会長より、どのような苦情が寄せられるか質問され、樋口理事より、職員のパワハラ、組織のやり方に対する利用者からの苦情が寄せられると発言された。

10. 第1回被害者支援活動推進検討会 [6/22(月)] について

(愛知県主催：愛知県三の丸庁舎)

細川理事より、年 3~4 回開催され、事例検討の机上訓練、弁護士等の講演会、被害者及び家族が参加し発言する会で、今回は事例検討の机上訓練であったと報告された。

メンタルについては、愛知県下の全中学校、高校については全体の半数に臨床心理士が在籍していると報告された。

山本副会長より、ホンデリング事業とはどういった事業であるか質問され、細川理事より、犯罪被害者を支援するための事業で、不要になった本を中央に寄付し、それを販売して資金とする事業であると説明された。

【病診連携・地域医療支援病院関係会議について】

11. 名古屋第二赤十字病院第 39 回地域医療支援病院運営委員会 [6/22(月)] について

(名古屋第二赤十字病院主催：名古屋第二赤十字病院)

大輪理事より、平成 26 年度の月平均の紹介率(73.9%)、逆紹介率(93.2%)、27 年 3 月の逆紹介率は 103.3%であったと報告された。

救急患者数は 39,526 人(25 年度より 5,019 人減少)、救急車搬送患者数は 9,845 人(25 年度より 577 名増加)、救急入院患者数は 11,677 名(25 年度より 605 名増加)、小児救急患者数は月平均で 130 名減少したと説明され、一日平均新規入院患者数は 63.9 名(25 年度は 61.7 名)で、目標は 70 名であると報告された。

【その他事項について】

12. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成27年6月25日